



ZARA ORIGINS

#PERMANENT COLLECTION



## ZARA ORIGINS

#PERMANENT COLLECTION

ZARA Originsは、現代的なワードローブの構築に焦点を当てたプロジェクトです。その目的とは、新しく洗練された原型をもとに、上質な素材や最高水準の知識と技術で作られた衣服を考案し、製造して提供することです。それは、進歩的なデザインを活かし、モダンなコンセプトと卓越した価値の融合を実現しました。

ZARA Originsが、冬と夏の2シーズンに向けて最初のコレクションを発表した際、常に進化し続けるプロジェクトとして定義されました。2回のコレクションを経て、3回目のコレクションでは1年を通してワードローブの必需品を提供し、さらに季節の限定品も加えるという、自然な形で進化を遂げました。

この新しいアプローチに対応するため、クリエイティブエージェンシーのMJM Parisは、まったく新しいグラフィックをデザインしました。新しい書体と2つのシンボルもしくはイマゴタイプ(イメージとテキストが一緒になったロゴ)が、全体的なブランディングとして、コレクションの一部に使用されています。これらのグラフィックは、このプロジェクトの新しい構造を分類する視覚的なシステムとして機能しています。

時代を超えて愛されるワードローブを提案する新コレクションのデザインプロセスでは、Antonio Vivaldi(アントニオ・ヴィヴァルディ)の「四季」がサウンドトラックとなり、このプロジェクトのインスピレーションとなりました。第1弾ではArphen Twins(エイフェックス・ツイン)の“Auril 14th”、第2弾ではBob Marley(ボブ・マーリー)の“Sun is Shining”を、第3弾では電子音楽家の青木孝允がサウンドトラック“Autumn”を制作しています。今後も、現代アーティスト達がそれぞれの季節を音楽で表現していく予定です。

今コレクションを紹介するにあたり、キャンペーンの撮影をJamie Hawkesworth(ジェイミー・ホークスワース)が担当し、David Searceは、東京を舞台に田邊和也、菅田俊、アンダーグラウンド・タトゥーアーティストのTAPPEIが出演する11分間の魅力的なショートムービーを制作しました。

このキャンペーンでは、日本が誇るクリーンで深慮深く、絶妙にデザインされたバックグラウンドが、ミニマルなシルエットとパターンを保ちながらも前回から改良されたコレクションを際立たせています。ネイビー、ブラック、グレー、キャメル、ホワイトのスマートなカラーパレットに、レザー、カシミア、アルパカ、コットンなどの上質な素材を組み合わせています。

この現代的なワードローブの探求は、ホームウェアの領域へと自然に発展していきました。ZARA Originsは、理想的な白いTシャツや最もピュアなデニムパンツを見つけるための手段として始まりましたが、現在では、グラス、テーブルウェア、ホームフレグランス、バスローブなど、同様に洗練されたライフスタイルアイテムと合わせて、幅広い製品を取り揃えています。

9月22日(木)より、国内では公式オンラインショップ及び、新宿店、銀座店、福岡天神西通り店、大阪心斎橋筋店、名古屋店、イオンレイクタウン店にて販売を開始します。



DOWNLOAD IMAGES



ZARA ORIGINS